

「吹奏楽部 25 期の 1 年間を振り返って」

私たちが高校 2 年生だった 1 年間、思い返せば濃厚な 1 年だったと感じています。吹奏楽コンクールで地区大会金賞を受賞し、カジュアルコンサートではジブリをテーマに時事ネタを織り交ぜた劇を披露し、第 20 回の開催を記念した部活史上初の OB との合同演奏に挑戦した 1 年でした。

・コンクール北摂地区大会(2012 年 8 月 3 日@吹田メイシアター)

かつては府大会に進んでからが勝負となっていましたが、私たちの代は数多くの素晴らしい先輩方をもってしても府大会に進めない現実を突きつけられていきました。部活動の時間制限もついたため、尚のこと限られた中で何度も課題曲の行進曲「希望の空」と自由曲のラッキードラゴン～第五福竜丸の記憶をどう創り上げていくか、吟味を重ねていきました。そして迎えた地区大会本番、部長の H 氏による見事なソロも光り、結果として金賞を受賞しました。吹田メイシアターに響き渡る男子校ならではの雄叫びをあげて喜びを噛み締めた瞬間は、今でも鮮明に覚えています。

・カジュアルコンサート第 2 部(2013 年 3 月 28 日@高槻現代劇場大ホール)

毎年恒例のカジュアルコンサート、私たちの代はメインでスタジオジブリ・アニメ・メドレーを演奏するところから決め、そこから劇を作り上げていきました。当時から指揮棒を自作してしまうくらい製作上手な T 氏は、解体可能なベンチや王蟲のモチーフなど、才能を遺憾無く発揮して大道具を完成させていきました。脚本の U 氏による時事ネタや部員のキャラに合う配役(武部先生にもご登場いただきました)、ストーリーは、笑い声や口笛、予期せぬ拍手を貰えるくらいお客様の心に響いていたのが印象的でした。落ち着いたナレーションは同期 1 の国語力を誇る M 氏、宮崎駿さんのオマージュ役は年老いた印象の T 氏、ワイルドさを売りにしていたスギちゃんのオマージュ役は普段は控えめな Y 氏のように、ハマるところとギャップとを活かした配役がスペイスになっていたのでしょう。そして肝心のメインは、ヒロイン役の副部長 S 氏や、きゃりーぱみゅぱみゅをオマージュしたアイドル役を熱演した K 氏をはじめとした方々による美しいソロも交えながら、クライマックスへ向かっていきました。

・部活史上初の OB との合同演奏

そして私たちが引退する回がちょうど 20 回目のカジュアルコンサートということもあり、第 3 部 1 曲目にアルメニア・ダンス パート 1 を OB と合同で演奏しました。旧音楽室に所狭しと並べられた椅子と譜面台、普段は中々聴く機会のない先輩方の楽器の響き、どれもが新鮮で印象的でした。先輩方としてもちょっとした同窓会のような雰囲気の中で、馴染みのある一曲を演奏出来たのではないかと感じています。

この原稿を執筆中、10年ほど前の懐かしい記憶を思い返していました。練習は地道で思うように行かず大変な場面もありましたが、青春時代をかけて吹奏楽を楽しめたのは今となってもいい思い出です。本当にありがとうございました。

吹奏楽部 25期一同